

品番 39985

品名 アルミツインスパーフレーム GC-016

- この度はGクラフト製品をお買い上げ頂きまして有難うございます。
本製品はモンキー、カブ系の横型エンジンがボルトオンで搭載できる
軽量高剛性のアルミフレームです。装着の際には、この取扱い説明書を良
く読んで安全に作業して下さい。
- エンジンの搭載位置やスイングアームピボットの位置などを完全に新設計
し、ディメンションの変更、車体剛性の最適化を図りました。
(ノーマルフレーム重量 7.5kg→5.3kg)
- 2007NANKAI 鈴鹿 Mini-Moto 4 耐予選 15 位 決勝 12 位 BEST TIME
2' 57.471 (チーム RH 松島) を記録しました。
- ホイールベースをノーマルから 35mm 延長した事により、ステムキットの
変更なしで 12 インチタイヤ(ブリジストン BT-601SS 110/90-12) の装着が
可能になりました。(ノーマルホイールベース 1055mm→1090mm ※スイ
ングアームノーマル長)
- リアに車高調整機構を設ける事でセッティングの幅が広がります。
- ピボット部は高精度マシニングセンターを使用する事で極限の 3 次元肉抜
き加工が施されています。
- スイングアームピボットは可変式タイプになっています。(標準位置と +3mm
の移動が可能)です)
- エンジン搭載位置を車体センターから左に 7 ミリ移動する事が出来ますの
で、オフセットスプロケット等を使用すること無く 4J ワイドホイール、NSR
ホイールなどが使用できます。(付属のカラーをご使用ください。)
- ヘッドパイプはモンキー用、モンキーR 用、NSR50/80NSF100 用の 3 種類から
選ぶ事が出来ますので、今お手持ちのステムキットがそのまま御使用いた
だけます。(標準仕様はモンキーR)
- モンキーR のノーマルのスイングアーム、もしくは弊社モンキーR 用スイン
グアームが装着できます。
※スタビ付きスイングアームは装着できません。スタビ部分が干渉します。
詳しくはご相談ください。
- モンキーR のノーマル外装、テールランプが装着できます。
- オプションを選択することで NSR の外装が装着できます。(品番 39911)
- キックペダルの交換が必要になります(推奨キタコ製 307-1083900)

！ 注意事項 ！

- 取付け作業は安全かつ平坦な場所を選び、車体を確実に固定、安定させてから行って下さい。メンテナンススタンド等があればより安全に作業できます。
 - ノーマルパーツをはずす際、又は取付け作業にはサービスマニュアルを参考にしてください
 - この説明書に反した使用方法、取付けでの破損や損害につきまして当社は一切の保証をいたしません。
 - 作業終了後は必ずボルトの増し締めをおこなってください、走行後も随時確認をおこなってください。
 - ステップ装着時にスイングアームと干渉する場合がございます。干渉する場合はアルミカラー等にてステップをオフセットしてご使用ください。
 - フレームにテープで止められている付属のシム類は溶接加工後位置だしをしたものです。そのままご使用してください。
(別途各種シムを付属していますのでご使用ください。)
 - 本製品は溶接後に全品エンジン、タンク、シートの搭載チェックを行っております。細心の注意を払いながら作業を行いますが、装着時の小キズ等ご容赦ください。
 - 本製品はレース専用部品です。各部品の装着には加工が必要になる場合がございます。装着できない場合ご相談ください。
 - 走行前及び走行後の確認は必ず行うようにしましょう。
 - ノーマルマフラーは使用できません。
 - 社外のモンキーR用のマフラーは装着確認しておりません。
(使用可能なマフラーについてはお電話、メールにてご相談ください)
 - 車高を下げすぎるとタイヤとエンジンヘッドが干渉します。干渉しない位置で御使用ください。
 - サイドスタンドを装着した場合、干渉する場合があります。詳しくはご相談ください。
 - 弊社モンキーR用のバックステップを装着する場合、別途アダプター(品番39908)が必要になります。(※モンキーR ノーマルのステップは装着確認しておりません。)
 - NSR用のステップを使用する場合、別途アジャスタブルシフトリンク(品番39909)やチェンジロッド(品番39910)が必要になります。(※弊社で装着確認したステップはTTS製NSF100用レーシングステップキットです)
 - ハーネスの取り回しを変更する場合があります。
 - フレームに打刻してある番号(GC-016-***)は弊社の管理番号です。販売証明等は一切発行いたしません。
- ◎シートレールのみ の販売価格¥20.000(ボルト類含む)となります。

各部ボルトの締め付け確認と各部品の干渉が無いかを確認して作業終了です。
必ずならし運転をして安全を確認した後、走行して下さい。
走行前及び走行後の確認は必ず行うようにしましょう。